

◆ 各区だより ◆

熱田区

あつた

地域との交流を大切に

なごやかクラブ熱田区は、熱田神宮の加護のもと、6学区が健康をテーマに「年間の行事を通して親交を深める」をモットーとして取り組んでいます。

ウォーキングとグラウンド・ゴルフが年2回、ペタンクとカローリングを年1回実施しています。皆さん若者にかえり選手とともに汗を流し、選手も応援者も意気揚々と張り切ります。



また、体力測定にも関心をもち、保健所および講師の方の指導のもと、健康体操を行っています。

社会奉仕に清掃活動などの地域の行事は、クラブ行事の前後に行っています。

地域の見守り活動として、青パトの実施、小学生下校時



の見守り活動、登校時の挨拶運動などを実施しています。さらに教育の一環として昔のあそび、コマ回し、お手玉、おはじき、あやとり、けん玉等に、子供に交じって参加し、幅広い世代の交流を深めています。

昨年は、熱田区制80周年の記念すべき年にあたり、いろいろなイベントに参加し、皆さんと話が弾みました。

明日につながる活力として、自ら積極的に行動し、次の行事が待ち遠しく、記憶力も養えて、良い傾向になると自負しています。

楽しいクラブ、良き友、私たちがなごやかクラブ熱田を誇りに思っております。

(鬼頭 弘子)

中川区

なかがわ

たかばた・高寿会
再結成の4年を振り返って

荒子学区老人クラブ「高寿会」の活動状況を紹介しますと、初年度の平成26年にネーム入りのベストを購入し、ボランティア活動などに着用しています。



年間では、会員総会、当会主催の講演会、親睦を兼ねた日帰り研修旅行、町内清掃活動(月2回)のほか、グラウンド・ゴルフ(週3回)、カラオケ(年数回)を行っています。

また、これらの活動状況をまとめた会報を発行(年4回程度)し、町内世帯にも回覧しています。

○「講演会活動」

会の限られた予算の中で、講師として大学教授や弁護士を招き、高齢者に関心や話題性のあるテーマについて話を聴いています。会場は近くの中川区社会福祉協議会・研修室で、非会員を含め毎回30〜50名の参加者があります。特に、平成27年の講師は、町内出身・在住の溝口常俊名大名

誉教授で、専門分野の「古地図」をもとに興味ある話を聴きました。

○「研修旅行」

当会単独の日帰り研修旅行を実施しています。平成27年は岐阜・関方面に足を運びました。関善光寺に立ち寄った際、その寺に鎮座する仏像がラグビーの五郎丸選手のポーズに似ていると評判になった直後でもあり、当会員の鑑賞姿がテレビ放映されるといふハプニングもありました。

○「今後の課題」

より多くの会員が参加できる行事として「ふれあいサロン」の開設を検討中です。

(田中 康雅)

